

唾液採取用綿棒 & 不活化液

唾液採取用綿棒「エススティック」

医療機器製造販売届出番号：09B3X00006000055

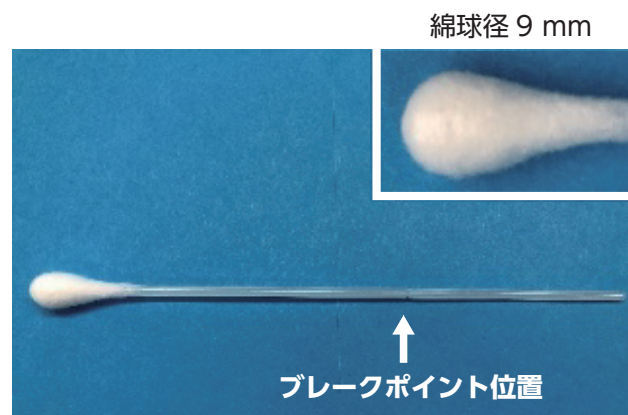
吸水性と検体の採取率に優れたポリエステル製綿棒。

滅菌・一本個包装

唾液採集後、スリットを折って PCR メディア SG に収納。

(ブレイクポイント 95 mm、綿球φ9 mm)

※ 使用方法は裏面をご覧ください



不活化液「PCR メディア SG」

塩酸グアニジン 40%含有しており、検体採取後の感染リスクを低減します。

容量 4.3ml と 3ml の 2 種類。

※ PCR メディア SG は試薬や機器によりお使いいただけない場合がございます。後工程で使用するキットの添付文書の記載をご確認ください。



大型装置向け
容量 4.3 ml

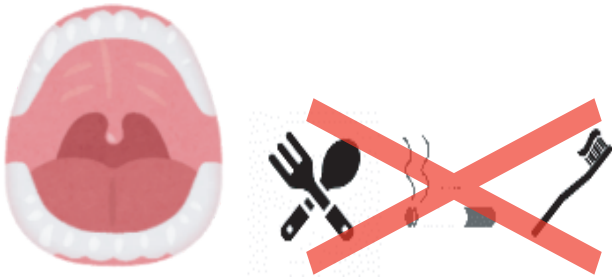
一般向け
容量 3 ml

品 名	品 番	長さ/容量	入数	保管温度	価格(円/税別)
エススティック	PX1509SZ	150mm	300本	-	24,000
PCRメディアSG	SGFK-4S	4.3ml	50本	室温	20,000
PCRメディアSG	SGFK-3D	3ml	50本	室温	20,000

唾液採取用綿棒での検体採取方法

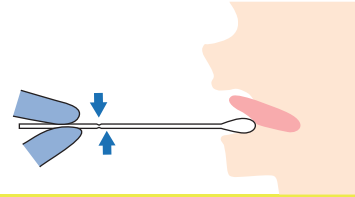
患者さんへお願い（唾液採取に関して）

- 1 自然に分泌される唾液を
口の中に溜めます。



注意：採取 30分前から飲食、喫煙、歯磨き、
口内洗浄はお控え下さい。

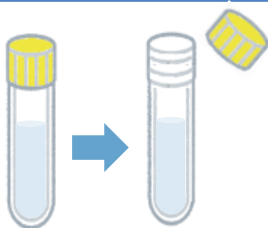
- 2 袋から綿棒を取り出し綿棒を静かに
口の中（舌下）に含み、唾液を充分
に染み込ませます（2分程度）。
また、綿棒を口から取り出す際には、
綿棒を噛まないように取り出します。



注意：綿棒は、先端の綿体に触れないように注意
しながら綿棒を包装より取り出して下さい。

院内の方へお願い（唾液採取後に関して）

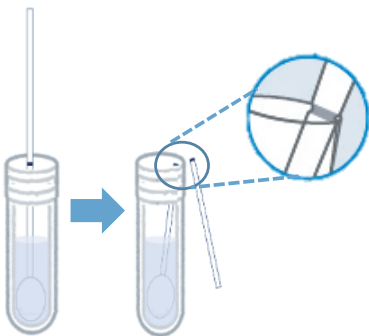
3



不活化液の入ったチューブを開栓します。

※チューブや蓋の内側に触れず、誤飲しないようご注意ください

4



チューブに唾液採取した綿棒を入れて
ブレイクポイントを容器縁に合わせ上部を折ります。

※折った上部綿棒は医療廃棄物として適切に処理して下さい。

5



チューブの蓋をしっかりと閉め、
緩みがないことをご確認下さい。

※容器周りに唾液が付着した場合は、
アルコール等で表面を拭き取って下さい。

◆ 採取後は必ず冷蔵保管をお願い致します。